

## タイ企業と愛知県企業のビジネスマッチングについて(その2) 一般調査報告書

### 要旨

愛知県バンコク産業情報センターでは、今年度も特色ある技術や製品を保有するタイ企業と愛知県企業のビジネスマッチングを行っています。今回のレポートでは、①新たに出会ったユニークなタイ企業などをご紹介しますとともに、②タイ企業と愛知県企業のビジネスマッチングを行う意義、③ビジネスマッチングの進捗状況及び工夫点を報告します。

### 1. 特色あるタイ企業など

当センターでは、タイ企業の愛知県に対する対内投資の促進と、愛知県企業のタイにおける事業拡大を図るため、野村総合研究所タイの協力を得つつ、特色あるタイ企業などの発掘と、愛知県企業とのビジネスマッチングに取り組んでいます。

今年度は、コロナ禍が加速した製造現場の自動化トレンド及びタイ政府が掲げる BCG(バイオ・循環型・グリーン)経済政策に注目し、①製造現場の効率化に資するシステムインテグレーションや IoT サービスを実施する企業、②農業の生産性向上に資するアグリテック企業を中心に企業開拓に努めました。スタートアップ企業として政府系金融機関からの投資を受ける企業や、日本やアメリカでの就業経験を踏まえて独立し、グローバル企業からの案件受注に成功している企業など、面談する中でタイ企業の事業における勢いを感じる事が出来ました。

現在、愛知県企業とのビジネスマッチングを行っているタイ企業の概要をご紹介します。

#### (1) 製造業向けソリューションサービス提供企業

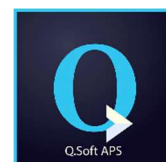
##### ①BUSINESS COMPETITIVE INTELLIGENCE

Co., Ltd.

2002年設立	資本金:5.1百万 THB
従業員数:20人	売上高:8百万 THB
URL: <a href="https://q-softthai.com/">https://q-softthai.com/</a>	

中小製造業向けにサプライチェーンマネジメントや IoT を用いた生産性向上に繋がる IT サービス

(Q.SOFT)を展開し、日系を含む 200 社以上に導入実績あり。王室プロジェクトや国連と連携して森林管理や農業生産を支援するプラットフォームも運営開始。IoT サービスを高度化させるためのデバイスやタイにおけるサプライチェーンの高度化について連携先を募集。



##### ②Eureka Automation Co., Ltd

2015年設立	資本金:50百万 THB
従業員数:126人	売上高:429.8百万 THB
URL: <a href="http://www.eurekaautomation.co.th/">http://www.eurekaautomation.co.th/</a>	

自動車部品の組立機械設計を得意とする Sier。自動車メーカーとの接点を広げ FA 機器などを世界 13 各国に製品を納品。近年は電子機器、日用品、食品の製造や物流倉庫などの自動化に事業領域を拡大中。タイ・オートメーション&ロボット協会 前副会長企業。電気部品の組立や Industry4.0 など技術パートナーや日本市場に当社のサービスを展開するパートナーを募集。



##### ③HIRUN TECHNOLOGY Co., Ltd.

2017年設立	資本金:2百万 THB
従業員数:300人	売上高:31.5百万 USD
<a href="https://hiruntec.com/">https://hiruntec.com/</a>	

タイ、インド、中国に開発拠点を持つ IT 開発企業。組み込みシステム開発からセンサーシステムや RFID

のデザインに事業領域を拡大。IoT、アグリテック、メディカルサービス等幅広い分野のプロジェクトを実施。85%の顧客が欧米や中東というグローバルな事業展開も強み。製造分野での IoT システムインテグレーションや IT システムの共同開発を希望。



#### ④Lertvilai and Sons Co., Ltd.

1931年設立	資本金:64百万 THB
所在地:バンコク都	売上高:1,085百万 THB
URL: <a href="http://lertvilai.com/en/home">http://lertvilai.com/en/home</a>	

日本製鉄社との連携による溶接事業から拡大し、自動車、電機、一般商材まで幅広い製造業を対象とするFA 関連の SIer に成長。タイ・オートメーション&ロボット協会 会長を務める。近年は自社開発の AGV を活用した生産物流ソリューションにも注力。生産物流の自動化に関連したパートナーを募集中。



#### ⑤System Stone Co., Ltd.

2016年設立	資本金:163,010THB
従業員数:32人	売上高:14.8百万 THB
URL: <a href="https://systemstone.com/th/">https://systemstone.com/th/</a>	

予防保全用アプリケーションを運営。PLC や IoT を通じて設備異常の検知、修理指示、修理履歴、従業員の保守スキルアップなどがスマホで一括管理可能。当該アプリ“FACTORIUM CMMS”はダウンロード数、顧客評価とも No.1 で、12 カ国 4,300 社以上が活用中。日本市場に当社のサービスを展開するパートナーや予防保全サービスの高度化に向けた技術パートナーとの連携を希望。



#### ⑥TKK CORPORATION CO., LTD.

2004年設立	資本金:117.6百万 THB
従業員数:80人	売上高:459百万 THB
URL: <a href="https://www.tkkcorporation.com/">https://www.tkkcorporation.com/</a>	

タイにおける日系製造業向けに製造機器や FA ソリューションを提供する総合商社として事業を拡大。大手通信企業などと連携した 5G を用いた最先端の SI プロジェクトも展開中。多数の大手製造機器メーカーや在

タイ日系企業とのネットワークが強み。大学等との MOU に基づく人材育成やサービスロボット開発にも取り組む。日本拠点を設立するパートナーや製造業関係のサプライヤーとの連携を希望。

## (2) 農業向けソリューション・アグリテック企業

#### ⑦Global Biopolymers Co., Ltd.

2006年設立	資本金:25百万 THB
従業員数:45人	売上高:73.8百万 THB
URL: <a href="http://www.globalbiopolymers.com/">http://www.globalbiopolymers.com/</a>	

キャッサバやサトウキビなどタイの豊富な農業資源から産出されるバイオプラスチック原料を配合するコンパウンダー。最終的なプラスチック製品の仕様に応じて最適な配合を行う技術力が強み。売上の 7 割は欧米などへの輸出。生産能力を拡充させるため新工場も準備中。バイオプラスチック製品の開発パートナーや日本市場への販路開拓パートナーを募集中。



#### ⑧Impress Green Energy Co., Ltd.

2010年設立	資本金:30百万 THB
従業員数:15人	売上高:121.5百万 THB
URL: <a href="http://www.biomatlink.com/">http://www.biomatlink.com/</a>	

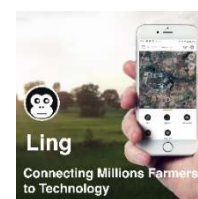
キャッサバ農家向けアプリケーション BIOMATLINK を運営し、3万弱の農家、キャッサバを購入する大手企業、農業機械メーカーなどを繋ぐプラットフォーマー。農作物の品質評価(石など混入物の有無、澱粉含有率など)、年間を通じた農場-工場間の物流管理といった支援を実施して農家所得の向上を志向。農業生産品管理システムの高度化に繋がるパートナーや農業用乾燥機に関する情報を探している。



#### ⑨LING Co., Ltd.

2019年設立	資本金:1百万 USD
従業員数:10人	売上高:N/A
URL: <a href="https://gis.lingmaps.com/">https://gis.lingmaps.com/</a>	

タイ政府(デジタル経済振興庁、イノベーション庁など)からの資金援助を受けて GIS プラットフォームを運営。農家など 350 万以上のアクティブユーザーに対し、



農地毎の位置情報、農作物生産の分析、降水や災害情報などを提供。GIS アプリケーションの高度化や農家支援に係る技術連携を希望。

⑩Qbox Point Co., Ltd.

2014年設立	資本金:2.2百万 THB
従業員数:30人	売上高:5.5百万 THB
URL: <a href="https://farmbook.co/index.php">https://farmbook.co/index.php</a>	

農家と小売りチェーンや製糖企業等を繋ぐプラットフォーム「Farmbook」を運用。IT システムを活用し、農産品に係るサプライチェーンの最適化やトレーサビリティの向上に資するとともに、農家に対して GIS などを用いた栽培方法のアドバイスや資材、金融の支援も実施。1.7 万戸の農家やタイ有数の小売りチェーンとのネットワークが強み。食品の輸出入に係る日本市場とのネットワーク強化や AI や QR コードに係る技術連携パートナーを募集。



## 2. タイ企業とのビジネスマッチングの意義

タイにおいて愛知県企業とタイ企業のビジネスマッチングを行うことによどのような意義があるのでしょうか？自動車産業を中心とする ASEAN のビジネス環境に詳しい野村総合研究所タイのシニアマネージャー 山本肇氏と今年度の事業で新規開拓したタイ企業の特徴や愛知県企業とのビジネスマッチングを伴走する中で感じていることを議論しました。

### Q.1 FA 分野のタイ企業の特徴は？

ロボットオートフォーメーションや製造業におけるデジタル化の促進はタイランド 4.0 のターゲット産業としてタイ政府も注力している分野です。今回面談した企業の中には、サプライチェーンのマネジメント支援、生産現場で導入されるソリューションの提供、生産機械の故障に備えた予防保全まで、製造業全般に関するサービス企業が揃っていました。

①創業者が起業前にタイ国外で製造業や IT 技術に関する就業経験を有する例があったこと、②日系企業をはじめ、外資系企業へもサービスを納入した実績を有する企業が多数あったこと、③海外に拠点を有して

グローバルな事業展開を進めている企業が複数あったことなどから、総じて海外展開に積極的な企業の多い分野であると感じました。IoT や 5G といった言葉が世界共通で使用されているように FA 分野はグローバルな技術開発競争が進んでいます。企業によっては、能力があるエンジニアを大量かつ安価に雇用するため、開発拠点を中国やインドに設置する事例もありました。スマホアプリの評価や競合企業との関係性をヒアリングする中で、タイ企業の中にも世界の主力企業と肩を並べる技術力を有する企業がある点が印象的でした。

1 点気になったのは、従来は日系企業が中心となっていたロボットなど実機供給において、中国系や台湾系メーカーの存在感が大きくなっていることです。面談したタイ企業からも、物流の自動化ソリューションに中国企業が開発した AGV や自動フォークリフトを導入している事例が紹介されていました。日系ロボットメーカーの優位性がどのように変化していくのか注視する必要があります。

### Q.2 アグリテック分野のタイ企業の特徴は？

農業分野の生産性向上もタイにおける重要な社会課題です。今回面談した関連企業は、IT 技術を活用して農家の所得向上に貢献する意欲が豊富な企業が中心でした。農作期間や集荷工程のトレーサビリティ向上、でんぷん含有量に代表されるデータを踏まえた品質評価など、IT 技術を活用することで農作物の販売単価向上に繋がるのは有意義な取組です。また、大手小売り企業とのネットワークを活用し、消費者側の中長期的な需要を農家に伝えることで、農家の作付け計画を向上させたり、資金調達や農耕機械のレンタルなどと連携させたりする取組には感銘を受けました。

アグリテック関連の企業はタイが強みを有する農業に根ざした活動をしていることから、FA 分野と比較して海外展開は進んでいない印象です。タイの農作物の中には日本へ輸出されるものも多いため、日本市場の需要をタイ農業のサプライチェーンに反映させるのは魅力ある連携の視点だと感じます。また、トレーサビリティ向上の観点では、日本のものづくりが培った QR コードや RFID を用いたソリューションが活用できる可能性があるのではないのでしょうか。

### Q.3 今年度のビジネスマッチングはどのような印象？

愛知県の取組も含めて過去の類似事業では、有力なタイ企業を日本に招聘してビジネスマッチングを行う手法が一般的でした。コロナ禍による渡航制限を受けた昨年度は手探りでオンラインツールを活用したマッチングを行っている印象がありました。

今年度は、愛知県バンコク産業情報センターが中心となり、在タイ愛知県企業がタイ企業との連携に求めるポイントを把握し、タイ企業と愛知県企業の事業連携を促すマッチングが出来ていると思います。そのため、WEB 会議であっても初回面談時から双方が具体的に連携したい事業を提案することも多く、活発な議論に繋がっています。現状、タイ企業と連携して新たな事業に挑戦しようとする在タイ愛知県企業は大企業が多い状況ですが、個々の企業のニーズを丁寧に把握し、マッチングの可能性が高い企業と面談を繰り返す手法は、従前の取引に固着してしまっている中小企業の事業拡大にも有効な手法だと感じています。

タイ企業との新たな出会いが在タイ愛知県企業のタイにおける事業を活性化させることは間違いありません。ただし、本事業の最終目的である愛知県への対内投資を実現させるためには、タイ国内での事業連携、日本での連携事業の拡大、拠点設立に向けた支援など段階に応じた支援が必要で、中長期的な視点で伴走支援を行うことも肝要ではないでしょうか。

### 3. ビジネスマッチングの進捗状況

当センターでは、1章で紹介した企業を中心にこれまで培ってきたタイ企業と愛知県企業のネットワークを活かしてビジネスマッチングを進めています(表 1)。企業の既存事業における強みや、今後の事業戦略を踏まえたニーズなどを念頭に、事業連携が見込まれる企業間の面談をセットし、各社の企業紹介と今後の連携に向けたフリーディスカッションを実施するものです。

タイでは4月以降のコロナ感染拡大に伴う活動制限のため在宅勤務を導入する企業や来訪者を限定する企業が多く、在タイ企業同士のビジネスマッチングであってもオンラインが中心でした。最近では、徐々に活動制限が緩和され、陰性証明の提示や入場前の抗原検査を実施することで対面での面談が可能になってきた

ことは前進です。

表 1 2021 年度に実施したビジネスマッチング

開催月	タイ企業	愛知県企業	方法
4月	小売り	食品	WEB
4月	小売り	食品	面談
4月	技術系大学	機械部品	WEB
4月	飲食	食品	WEB
9月	自動車部品	自動車部品	WEB
9月	ITソフト	自治体	WEB
9月	小売り	商社	WEB
10月	アグリテック	商社	WEB
10月	アグリテック	商社	WEB
11月	ITソフト	業界団体	WEB
11月	小売り	商社	WEB
11月	技術系大学	工作機械	WEB
11月	Sler	商社	面談
11月	アグリテック	商社	WEB
11月	ロボット	商社	WEB
11月	政府機関	商社	面談
11月	飲食	商社	面談
11月	食品	商社	面談
11月	自動車関係	製造サービス	WEB
12月	IT開発	商社	WEB
12月	ロボット	商社	面談
12月	自動車部品	自動車部品	面談
12月	アグリテック	自動車部品	WEB
12月	アグリテック	自動車部品	WEB

4月から12月までの間に、タイ企業18社、愛知県企業12社、延べ24件のビジネスマッチングを実施しました。個別の議論は各社の企業戦略に関わるためご紹介できませんが、サービスの共同開発、タイ企業が開発したシステムを在タイ拠点に導入、愛知県内においてタイ企業のサービスを活用したモデル事業の実施、新たな取引の発生見込みなど、昨年度以上に前向きな連携成果が生まれつつあります。

面談をコーディネートして印象的なのは、在タイ愛知県企業がタイ企業と連携して事業拡大に挑戦したい思いが強いことです。対象地域(タイ国内のみでなく、周辺国へのサービス拡大や、日本への売り込み

など)、対象事業(既存事業に関連した連携、従来取引のない分野への事業拡大など)ともに多様性があり、次の展開にワクワクさせられるのはファシリテーションをする身として幸せな時間です。今後も既存案件を丁寧にフォローするとともに、タイ企業との新たな連携を希望される愛知県企業への支援を続けてまいります。当該活動に興味を持っていただける愛知県企業からのお問合せをお待ちしております。

#### 4. おわりに

コロナ感染者数が減少傾向となり、12月1日から12日までの間、Thailand International Motor Expo 2021がオフラインとオンラインを交えたハイブリッド形式で開催されました。主催者の発表によると、来場者数：1,151,540人、オンライン参加者数：139,110人、予約台数は自動車：31,583台、バイク：3,253台の合計440億パーツとのこと。過去5年間の中では最も少ない予約台数ですが、長引くコロナ禍の中では善戦したと評価できるのではないのでしょうか。

今回のMotor Expoの注目点は、各社のEV戦略と中国系メーカーの進出状況です。中国や欧米市場と比較してEV化が遅れているとされるタイ市場ではありますが、各社ともBEVやPHEVなどをシンボルモデルとして目立つ位置に展示していました。メーカー別予約台数は表2のとおりです。トヨタをはじめとする日

系メーカーはシェアを確保していますが、中国系のMGや2021年6月から販売を開始した長城自動車も存在感を増しています。

表2 Motor Expo 2021 メーカー別予約台数

ランク	メーカー	予約台数(台)	ランク	メーカー	予約台数(台)
1	トヨタ	5,715	11	フォード	1,025
2	ホンダ	4,115	12	長城自動車	868
3	いすゞ	3,329	13	ヒュンダイ	677
4	マツダ	3,189	14	レクサス	433
5	MG	2,297	15	スバル	403
6	スズキ	2,185	16	起亜	328
7	メルセデスベンツ	2,005	17	ボルボ	312
8	三菱	1,572	18	プジョー	291
9	BMW	1,111	19	ボルシェ	235
10	日産	1,028	20	アウディ	179



図1 Motor Expo 2021 会場の様子

人気メーカーのブースは平日でも賑わいを見せていた。各社ともPHEVやBEVを展示し、電動化技術をPR。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

バンコク産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。